

特集

みんなで

「感じる」UDスタイル

アートを楽しもう

UD+ART

「世田谷UDスタイル」とは

多くの人がまちを快適に利用できるための工夫や配慮を、自分自身の日常の暮らしに取り入れ実践していくことが「世田谷UDスタイル」です。様々なスタイルをこの冊子では紹介していきます。

第2号の内容

- 02 特集 みんなでアートを楽しもう
- 04 ワークショップ1 公園の楽しみを広げるアートをつくろう
- 06 ワークショップ2 五感を使って、建物の歴史をじっくり感じよう。
- 08 インタビュー 縄文アーティスト 堀江武史
- 09 二子玉川へ行こう!
- 10 ユニバーサルデザイン UDゼミ開催
- 11 ユニバーサルデザインを 広げています

アートを感じて もっと感覚を広げよう

アートを「感じる」方法を広げることで、もっと豊かで新しい体験につながるかもしれません。見る、触る、感じる、知る、そしてそれをゆっくりと味わうことで、多様な人と楽しさを共有することにつながるかもしれません。

平成27年度は、アートをテーマにしたふたつのワークショップを通して「感じる」UDスタイルを考えました。「世田谷UDスタイル」第2号では、このワークショップの様子を紹介し、ユニバーサルデザインについて考えます。

アート(芸術)に 対するイメージは？

みなさんは、アート(芸術)というと、どんなイメージを持っていますか？

印象派の絵画、現代アート、演劇、コンサート…

絵画は見るもの？ 音楽は聴くもの？

絵画や彫刻は「見る」もの、音楽は「聴く」もの。もちろん、それだけじゃありませんよね。アートは五感を使って感じるものでもあります。

ユニバーサルデザインの考え方をアートと組み合わせると、多様な人といっしょに楽しむと、そのことがもっとはつきります。

UD(ユニバーサルデザイン)とは 年齢、性別、国籍、能力等に関わらず、できるだけ多くの人が利用しやすい生活環境にするという考え方です。